

|     |    |    |         |     |                                 |    |    |    |            |
|-----|----|----|---------|-----|---------------------------------|----|----|----|------------|
| No. | 14 | 分類 | 3-(1)-ア | 資料名 | 阪神大震災の被災地から発せられたニーズから、人権について考える | 学年 | 3年 | 領域 | 特別活動（学級活動） |
|-----|----|----|---------|-----|---------------------------------|----|----|----|------------|

### 1 ねらい

- 被災地から発せられるニーズを考えることは、人類が獲得してきた人権の内容を考えることになることを認識する。

### 2 趣旨

- 災害直後の被災地からのニーズは、衣・食・住に関するものが中心となり、生存するための権利が求められる。やがて、プライバシーの保護や文化的な生活への要求が加わっていき、その内容も多様化していく。それは、自由権、平等権から社会権へ、そしてプライバシーの権利や自己決定権等の新しい人権へと獲得の要求が拡大した人権の歴史と重なるものである。被災地支援を考えることは、私たちが人権そのものを考える契機となる。
- 被災地の支援においては、時間の経過と共に、ニーズと支援が一致しない状況が生まれることがある。状況把握を行い、被害者に寄り添った支援を行うことで、ニーズに対する効果が生まれることを認識させたい。
- 資料を用いて災害時のニーズや権利の優先性について理解させるとともに、アクティビティを実施し、それら一つ一つが人権であることを捉えさせたい。さらに、人権の概念についての理解を深めるとともに、自分やみんな、社会のニーズと人権の関係を考え、身のまわりの人権課題への解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲や態度を養いたい。

### 3 配慮事項

- 阪神・淡路大震災や東日本大震災発生時の状況については、事前に「明日に生きる」等で学習しておく。
- 東日本大震災の影響で被災地から避難している生徒がいる場合は、十分に配慮する。
- 人々が支え合って復興に向けて取り組んできた事実を、お互いの人権を尊重する取組として捉えさせたい。

### 4 展開例

| 学 習 内 容   | 指 導 上 の 留 意 点  |
|---|--|
| 1 資料中の19枚のカードを使って、アクティビティを実施する。<br>○自分が被災した場合を想定して、被災直後に必要とするものを5つ挙げ、その順位づけを行う。<br>○次に、必要とするものをさらに5つ挙げ、その順位づけを行う。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードについて簡単に説明し、自分の考えで順位づけを行う。</li> <li>・班で意見交換を行い、その理由も説明させる。</li> <li>・同じように班で意見交換を行い、その理由も説明させる。</li> </ul>                 |
| 2 資料を読んで考える。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ニーズは時間とともにどのように変化していきますか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生直後…生きるために最低限必要なもの。</li> <li>・数日後……普段どおりの生活に近づくために必要なもの。</li> <li>・数週間後…プライバシーを守るために必要なもの。個人的に必要なもの。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命維持からプライバシー保護まで、ニーズと人権がどのように結びついているかを考えさせる。</li> <li>・東日本大震災発生時は、インターネットなどを活用してニーズが発信され、それに基づいた支援が行われたことを紹介する。</li> </ul>   |
| 3 緊急時の権利の優先性について話し合う。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">「必要なもの」と「欲しいもの」の違いは何ですか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「必要なもの（Needs）」人として生きる権利を求めること。</li> <li>・「欲しいもの（Wants）」人としてよりよく生きる権利を求めること。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利には優先性があることを認識させる。</li> <li>・「必要なもの」から「欲しいもの」への拡大は、人権獲得の歴史と重なることを理解させる。</li> <li>・「人間らしく生きるための権利」の必要性について再認識させる。</li> </ul> |
| 4 被災地の支援において留意すべきことを考える。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神・淡路大震災の経験から分かることやできることがあることを認識する。</li> </ul>   |